

ウラン兵器禁止国際共同行動デー in 大阪

クラスター爆弾禁止からウラン兵器禁止へ！

ウラン兵器禁止と被害者支援を求める草の根の国際ネットワーク「ウラン兵器禁止を求める国際連合」(ICBUW)は、11月に全世界で、「ウラン兵器禁止を求める国際共同行動デー」に取組むことを呼びかけています。この国際共同行動は、11月6日の「戦争と武力紛争による環境収奪を防止する国際デー」(2001年、国連決議)にあわせ、ウラン兵器禁止を広く訴えようと、2004年から毎年取組まれています。国内外の運動と連帯し、関西でも街頭署名や集会に取組みましょう！

ウラン兵器は、地雷やクラスター爆弾と同じく、一般市民にも甚大な被害を及ぼす「無差別殺傷兵器」です。その被害は、戦闘が終わっても続きます。地雷[1997年]に引続き、昨年2008年末にはクラスター爆弾禁止条約が締結されました。被害者とともに禁止を求めて来た世界の市民の運動の大きな力が、禁止条約へとつながったのです。11月15日、大阪の「国際共同行動デー」の取組みでは、昨年に引続き、地雷、クラスター爆弾の禁止を実現させたキャンペーンを日本で担ってきた「地雷廃絶日本キャンペーン」と共催でシンポジウムを行い、その運動に学び、連帯し、ウラン兵器禁止のキャンペーンをさらに強めたいと思います。また、これらの兵器が使われた戦争の現場を取材し、被害者の姿と訴えを届け続けている、フォトジャーナリスト・豊田直巳氏の写真展も開催します。多くの皆さんの参加・賛同をお願いします！

賛同カンパ：個人 500円、団体 2000円
カンパ振込先：郵便振替口座番号：00960-1-259767 加入者名：ウラン兵器禁止

11月15日(日) 午後2時～5時
シンポジウム：非人道的兵器の禁止に向けて



～クラスター爆弾禁止からウラン兵器禁止へ！

場所：エルおおさか・5階／研修室2

報告・パネリスト：

☆目加田説子(JCBL運営委員/中央大学総合政策学部教授)：

「オスロ条約とオスロプロセス・クラスター爆弾に対する国際的取組み」

☆林明仁(JCBL運営委員)：「クラスター爆弾の被害と問題／日本の取り組みと署名・批准における諸課題」

☆振津かつみ(ICBUW運営委員)：「ウラン兵器禁止に向けた世界の動き—今後の課題と日本での取組み」

☆豊田直巳(フォトジャーナリスト)：「無差別兵器の被害者たち—地雷・クラスター・劣化ウラン弾」

**共催：ウラン兵器禁止を求める国際連合(ICBUW)ジャパン・関西
地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)**

11月15日(日) 12時～1時：街頭行動 [街頭署名・アピールなど]

場所：大阪梅田、JR大阪駅南側(予定)

呼びかけ：ウラン兵器禁止を求める国際連合(ICBUW)ジャパン・関西

11月11日(水)～16日(月)午前9時半～午後9時半(14,15,16日は、午後5時まで)

豊田直巳・写真展「イラク戦争と劣化ウラン～今も続く被害者の苦しみ」

場所：大阪市立総合生涯学習センター／ギャラリー (大阪駅前第2ビル、5階)

主催：ウラン兵器禁止を求める国際連合(ICBUW)ジャパン・関西